

第1回鎌倉駅西口駅前広場整備に関するアドバイザー会議議事概要

1	日 時	平成 29 年 7 月 15 日(土) 10:00~12:00
2	場 所	鎌倉市役所本庁舎 402 会議室
3	出 席 者	<p>アドバイザー：大木アドバイザー (株式会社オクトプランニング&デザイン代表取締役) 志村アドバイザー(東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授) 福岡アドバイザー (東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授)</p> <p>鎌倉市(事務局)：拠点整備部 前田部長 宇高次長兼再開発担当課長 再開発課駅周辺整備担当 菅原係長 武部係長 佐藤職員</p> <p>株式会社緑景(受託コンサルタント)：木原横浜事務所長 鈴木技術部チーフ</p>
4	議 題	<p>(1)鎌倉駅西口駅前広場の現状等について (2)アンケート結果について</p>
5	議事要旨	<p>鎌倉駅西口駅前広場について、資料をもとに説明を行いました。主な意見は次のとおり。</p> <p>○ 全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉駅西口駅前広場に対する市民の意見と観光客の意見の質は違うと思う。 ・市民のための広場と観光客の滞留空間のための広場の2つ計画条件があり、どのような配分で市民の皆さんに提示するかが難しい。 ・広場の一日の様子を見て、市民の利用実態をきめ細かくリサーチする必要がある。 ・市民意見と言っても、一般の市民以上に広場周辺の地権者の意見は強いと思う。 ・現在の限られた土地に対して出来ることには限界がある。 <p>○ 占有物について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場は面積が限られているため、占有物件は複合化するか、外に出せるものは出して、滞留空間を確保する。 ・大木の下スペースを上手く利用して、面積を有効に使う考え方はある。 ・カイズカイクキやさつき等のボリュームのある低木は、大きく面積を使ってしまう。 ・時計台は、建築歴史的なストーリーで言えば当然東口にあるべきである。 ・トイレは作らない方向で将来どこかに設置することを検討し、喫煙所は快適になる

	<p>よう整備する。時計台や植栽等は「広場が広くなった感じがする」と思ってもらえるような方向で進めるのはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計台は、台座の部分が大きいのでその部分をなくし、上物の時計を東口や西口広場のロータリーのクスノキ近辺に移設することは考えられる。 ・会議の内容を踏まえると、「トイレは広場外に設置する方向で考え、喫煙所はボックス型にして広場内外も含めて設置場所を検討し、クスノキ及び桜は残しつつ、時計台は移設も含めて検討する。」という整備方針になるのではないかな。 <p>○ パブリックコメント(基本方針)等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントは写真等でイメージを伝えていくことが現実的だと思う。 ・個別の施設等を作るという話をすると施設に対する要望のみが先行して収拾がつかなくなる可能性がある。市民の皆さんには考え方を提示して、その結果本当に良いものができれば納得してくれるのではないかな。 ・文章で目指すべき目標と抽象的なイメージを示し、あえて具体的な内容は提示しない方法とし、まずはコンセプトに対して賛同を得ていく。 ・地権者の皆さんには、整備のコンセプトをある程度まとめたうえで、この機能があると良いとか、今後の時代の変化でこの部分があると良い等のイメージをもらうなど、個別に意見聴取をすると良い。 ・市民や地権者の皆さんには、考え方の方針を提示し、意見をもらっていく。市民も観光客も人が使いやすい場所にしていけば、賛同は得られる。 ・限られた場所であり、具体的な施設配置などの整備内容は、専門家に任せる。
--	--